NEC Express5800シリーズ Express5800/iR120a-1E

3

ソフトウェア編

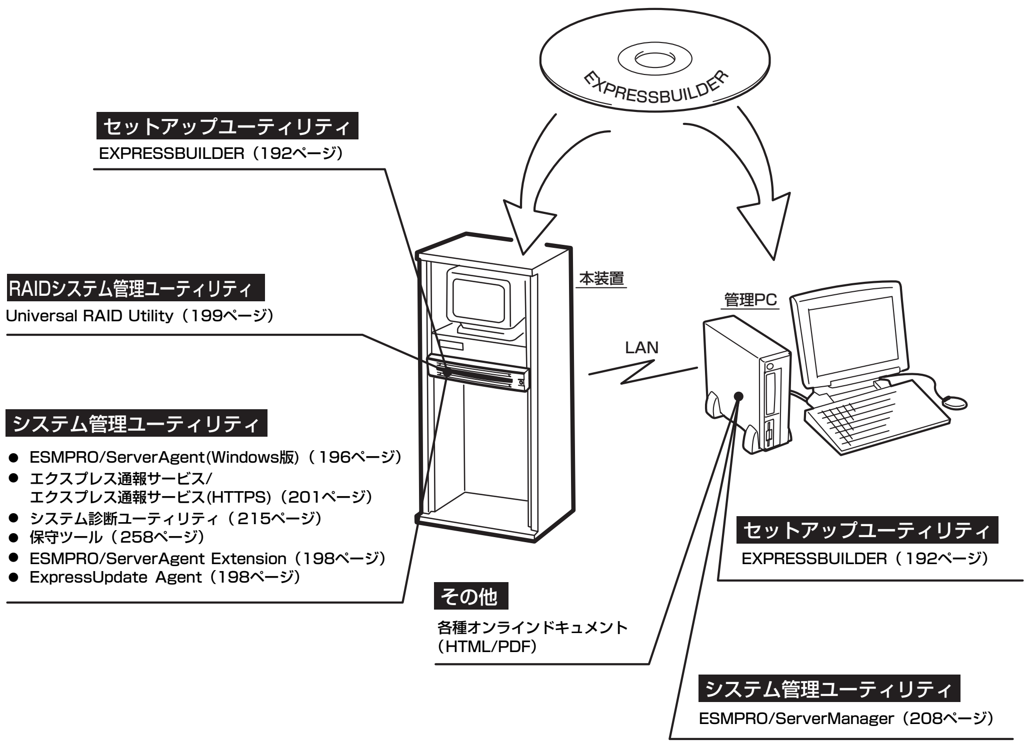
Express5800シリーズ用に用意されているソフトウェアについて説明します。

添付のDVDについて

添付の「EXPRESSBUILDER®」DVDには、本装置を容易にセットアップするためのユーティリティや各種バンドルソフトウェアが収録されています。これらのソフトウェアを活用することにより、本装置の機能をより多く引き出すことができます。

重要

「EXPRESSBUILDER」DVDは、本装置の設定が完了した後でも、OSの再インストールやBIOSのアップデートなどで使用する機会があります。また、装置障害時の保守作業においても使用されますので、なくさないように大切に保存しておいてください。



*1　コンソールレスで操作する場合。COMポートも使用可能。

ヒント

オプションのRAIDコントローラ（N8103-115/116A/117A/118A）を利用してRAIDシステムの設定をするRAIDユーティリティはボード上のチップに搭載されています。これらのユーティリティの操作方法については、オプションのRAIDコントローラに添付の説明書を参照してください。

DVD媒体読み込み機能のない管理PCを使用したいとき

EXPRESSBUILDERはDVDにて提供しているため、DVD媒体読み込み機能のないコンピュータでは各種ソフトウェアのインストールをすることができません。DVD媒体読み込み機能のないクライアントマシンへソフトウェアをインストールしたい場合は、次のような手順にて、いったんCD-R等へコピーしてから使用してください。

重要

本手順は、クライアントへソフトウェアをインストールする目的に限り、CD 1枚分のみコピーすることができます。

1. 本装置など、DVD媒体が読み込める装置へ「EXPRESSBUILDER」DVDをセットする。
2. オートランメニューが起動した場合は終了させる。
3. エクスプローラから、「EXPRESSBUILDER」DVDに格納された以下のファイル・フォルダをハードディスクドライブへコピーする。

```
¥(ルートフォルダ) : version.xmlをコピー
¦
+---- ¥013
       ¦
       +---- ¥ar_menu 以下すべて
       ¦
       +---- ¥doc以下すべて
       ¦
       +---- ¥win以下すべて
```

4. 手順3にてコピーしたファイル・フォルダをそのままのフォルダ構造にてCD-Rへコピーする。

   コピーするときは、ルートフォルダを一致させてください。
5. CD-Rへのコピーが完了したら、手順3にてコピーしたハードディスクドライブ上のファイル・フォルダはすべて削除する。
6. 手順4で作成したCD-Rをクライアントマシンの光ディスクドライブへセットする。
7. エクスプローラから、CD内の以下のファイルを実行する。

```
¥013¥ar_menu¥autorun_menu.exe        (32bitエディションの場合)
             autorun_menu_x64.exe    (64bitエディションの場合)
```

EXPRESSBUILDER

「EXPRESSBUILDER」は、OSのインストール、装置のメンテナンスなどをするためのソフトウェアです。EXPRESSBUILDERからOSをインストールする際には、インストール対象のハードディスクドライブ（またはRAIDシステムの論理ドライブ1台のみ）だけを接続してセットアップしてください。

各メニューの起動について

「EXPRESSBUILDER」DVDを本装置の光ディスクドライブにセットして起動すると、以下のようなメニューが起動します。

```
Boot selection

Os installation***default***......①
Tool menu(Normal mode)............②
Tool menu(Redirection mode).......③
```

① Os installation

本項目を選択すると、EXPRESSBUILDERトップメニューが表示されます。



重要

本ツールはConfiguration Toolであり、Windows PE 2.1を使用しています。72時間継続して使用すると自動的に再起動されますのでご注意ください。

このメニューから、OSインストールのための「シームレスセットアップ」（導入編参照）や、以下のような機能をキックすることができます。

a)　Windows用OEM-Diskを作成する
　　Windowsのマニュアルセットアップで必要となるOEM-Diskを作成します（導入編ーマニュアルセットアップ参照）。

b)　RAIDのコンフィグレーション情報をセーブ／ロードする
　　RAIDコントローラ上のRAIDコンフィグレーション情報を保存したり、復元したりすることができます。

c)　EXPRESSBUILDERにドライバをロードする
　　通常は使用しません。オプション製品を追加した場合に使用するときがあります（導入編ー応用セットアップ参照）。

② Tool menu(Normal mode)

本項目を選択すると、表示言語の選択の後、ツールメニューが起動します。



このメニューから、以下のような保守/設定用の機能をキックすることができます。各機能の詳細については、運用・保守編の保守ツールの章を参照してください。

a)　Maintenance Utility
　　オフライン保守ユーティリティを起動します。

b)　BIOS/FW Updating
　　システムBIOSをアップデートします。

c)　ROM-DOS Startup FD
　　ROM-DOS起動FDを作成します。

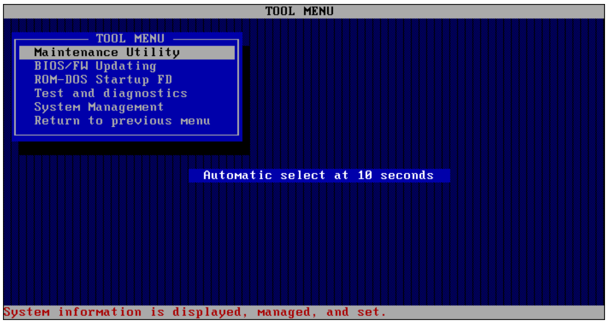
d)　Test and diagnostics
　　システム診断を起動します。

e)　System Management
　　システムマネージメント機能を起動します。

③ Tool menu (Redirection mode)

本項目は、BIOSコンソールリダイレクション機能を使用して、コンソールレスにて操作する場合にのみ選択してください。

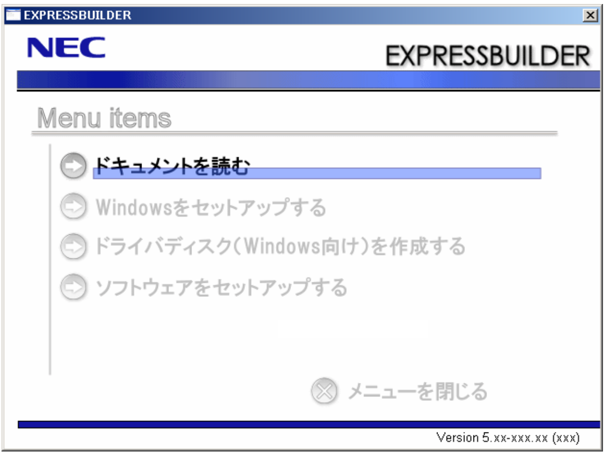
> チェック
> リモートKVM機能を使用しているときは、本項目ではなく②の項目を選択してください。



このメニューからキックできる機能は、②のメニューからキックできるものと同等です。

オートランで起動するメニュー

Windows2000+IE6.0、WindowsXP、Vista、Windows Server 2003、またはWindows Server 2008（Server Core環境を除く）が動作しているコンピュータ上で添付の「EXPRESSBUILDER」DVDをセットすると、オートラン機能により自動的にメニューが起動します。



ヒント

セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、いったんドライブから「EXPRESSBUILDER」DVDをイジェクトし、再度セットしてください。また、メニューを再表示させたいときは、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、「EXPRESSBUILDER」DVDをセットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

メニューからは、Windows上で動作する各種バンドルソフトウェアのインストールやオンラインドキュメントを参照することができます。

ヒント

オンラインドキュメントの中には、PDF形式の文書で提供されているものもあります。このファイルを参照するには、あらかじめAdobeシステムズ社製のAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Reader がインストールされていないときは、あらかじめAdobeシステム社のインターネットサイトよりAdobe Readerをインストールしておいてください。

メニューの操作は、ウィンドウに表示されているそれぞれの項目をクリックするか、右クリックして現れるショートカットメニューを使用してください。また、一部のメニュー項目は、メニューが動作しているシステム・権限で実行できないとき、グレイアウト表示され選択できません。適切なシステム・権限で実行してください。

チェック

「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブから取り出す前に、メニューおよびメニューから起動したオンラインドキュメント、各種ツールは終了させておいてください。

本体用バンドルソフトウェア

本体にバンドルされているソフトウェアの紹介およびインストールの方法について簡単に説明します。詳細はオンラインドキュメントをご覧ください。

ESMPRO/ServerAgent（Windows版）

ESMPRO/ServerAgent（Windows版）は本装置にインストールする本体監視用アプリケーションです。
EXPRESSBUILDERのシームレスセットアップで自動的にインストールすることができます。ここでは個別にインストールする場合に知っておいていただきたい注意事項とインストールの手順を説明します。

> ヒント
> 運用上の注意事項については、添付の「EXPRESSBUILDER」DVD内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerAgent（Windows版）インストレーションガイド」に記載しています。ご覧ください。

インストール前の準備

ESMPRO/ServerAgent（Windows版）を動作させるためには対象OSのTCP/IPとTCP/IP関連コンポーネントのSNMPの設定が必要です。

- **ネットワークサービスの設定**

  プロトコルはTCP/IP を使用してください。TCP/IPの設定についてはスタートメニューから起動する「ヘルプ」を参照してください。

- **SNMPサービスの設定**

  コミュニティ名に「public」、トラップ送信先に送信先IPアドレスを使います。ESMPRO/ServerManager側の設定で受信するトラップのコミュニティをデフォルトの「*」から変更した場合は、ESMPRO/ServerManager側で新しく設定したコミュニティ名と同じ名前を入力します。

インストール

ESMPRO/ServerAgent（Windows版）のインストールは添付の「EXPRESSBUILDER」DVDを使用します。本装置のOSが起動した後、Autorunで表示されるメニューから［ソフトウェアをセットアップする］－［ESMPRO］－［ESMPRO/ServerAgent］の順にクリックしてください。以降はダイアログボックス中のメッセージに従ってインストールしてください。



重要

Administrator権限を持つユーザでログオンしてください。

ネットワーク上の光ディスクドライブから実行する場合は、ネットワークドライブの割り当てを行った後、そのドライブから起動してください。エクスプローラのネットワークコンピュータからは起動しないでください。

ヒント

アップデートインストールについて
ESMPRO/ServerAgentがすでにインストールされている場合は、次のメッセージが表示されます。

ESMPRO/ServerAgentが既にインストールされています。

メッセージに従って処理してください。

インストール後の確認

ESMPRO/ServerAgent（Windows版）をインストールした後に次の手順で正しくインストールされていることを確認してください。

1. 本装置を再起動する。
2. イベントログを開く。
3. イベントログにESMPRO/ServerAgent（Windows版）の監視サービスに関するエラーが登録されていないことを確認する。

   エラーが登録されている場合は、正しくインストールされていません。もう一度はじめからインストールし直してください。

ESMPRO/ServerAgent Extension

ESMPRO/ServerAgent Extensionは本装置にインストールするリモート管理用ソフトウェアです。
ESMPRO/ServerAgent Extensionの機能やインストール方法についての詳細はEXPRESSBUILDER内の「インストレーションマニュアル」を参照してください。

ExpressUpdate Agent

装置のファームウェアやソフトウェアなどのバージョン管理や更新を行うことができます。
ESMPRO/ServerManagerによって、自動的にダウロードした装置の更新パッケージを、システムを停止せずに簡単に適用できます。
ExpressUpdate Agentの機能やインストール方法についての詳細はEXPRESSBUILDER内の「インストレーションマニュアル」を参照してください。

重要

ExpressUpdateに未対応のファームウェアまたはソフトウェアの更新パッケージが提供される事があります。これらの更新パッケージの適用に関しては以下のページに掲載しています。
NEC コーポレートサイト（http://www.nec.co.jp/）
［サポート・ダウンロード］ – ［PCサーバ］

Universal RAID Utility

Universal RAID Utilityは、以下のRAIDコントローラの管理、監視を行うアプリケーションです。

- オンボードのRAIDコントローラ(LSI Embededd MegaRAID TM)
- N8103-115 RAIDコントローラ(512MB, RAID 0/1/5/6)
- N8103-116A RAIDコントローラ(128MB, RAID 0/1)
- N8103-117A RAIDコントローラ(128MB, RAID 0/1/5/6)
- N8103-118A RAIDコントローラ(256MB, RAID 0/1/5/6)

Universal RAID Utilityのインストールおよび操作方法、機能については、添付のEXPRESSBUILDER に収録している「Universal RAID Utility Ver2.1 ユーザーズガイド」を参照してください。
なお、「Universal RAID Utility Ver2.1 ユーザーズガイド」に記載されているUniversal RAID Utilityの動作環境(オペレーティングシステムなど)が、本ユーザーズガイドの動作環境と異なる場合があります。この場合は、本ユーザーズガイドに記載の動作環境を参照してください。

カスタムインストールモデルでのセットアップ

本体装置のモデルにより、あらかじめ Universal RAID Utility がインストールされている場合があります。

シームレスセットアップを使用したセットアップ

Universal RAID Utilityは、「EXPRESSBUILDER」DVDに収録している「シームレスセットアップ」を使用してセットアップできます。シームレスセットアップのセットアップするアプリケーションの選択で、[Universal RAID Utility] を選択してください。

Universal RAID Utilityのセットアッププログラムを使用したセットアップ

[オートランメニュー] でUniversal RAID Utilityのセットアッププログラムを起動できます。
[オートランメニュー] で [ソフトウェアをセットアップする]、[Universal RAID Utility] をクリックします。
なお、Windowsの場合、下記のランタイムコンポーネントが必要です。

- Microsoft .NET Framework 2.0以上
- Microsoft .NET Framework 2.0以上の日本語Language Pack
- Microsoft Visual C++ 2005 SP1 ライブラリ

この3つのソフトウェアは、[オートランメニュー]でインストールできます。

[Microsoft .NET Framework 2.0]と[Microsoft .NET Framework2.0 日本語 Language Pack] をインストールするには、[オートランメニュー] で [Windowsをセットアップする]、[.NET Framework Ver2.0再配布可能パッケージ(x86)のインストール] (x64の場合、[.NET Framework Ver2.0 再配布可能パッケージ(x64)のインストール]をクリックします。

[Microsoft Visual C++ 2005 SP1 ライブラリのランタイムコンポーネント] をインストールするには、[オートランメニュー] で [Windowsをセットアップする]、[Microsoft Visual C++ 2005 SP1 再配布可能パッケージ(x86)のインストール] (CPUアーキテクチャに関わらず、(x86)を使用します)をクリックします。

ヒント

- Microsoft .NET Framework

  RAIDビューア、ログビューアを使用するには、Microsoft .NET Framework Version 2.0以上 が必要です。
  Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Vista、Windows 7は、オペレーティングシステムに.NET Framework 2.0以上 を含んでいます。これらのオペレーティングシステムを使用する場合、.NET Frameworkをインストールする必要はありません。

- Microsoft Visual C++ 2005 SP1ライブラリのランタイムコンポーネント

  RAIDビューアを使用するには、Microsoft Visual C++ 2005 SP1ライブラリのランタイムコンポーネントが必要です。
  Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Vista SP1以降、Windows 7は、オペレーティングシステムにMicrosoft Visual C++ 2005 SP 1 ライブラリのランタイムコンポーネントを含んでいます。これらのオペレーティングシステムを使用する場合、Microsoft Visual C++ 2005 SP 1 ライブラリのランタイムコンポーネントをインストールする必要はありません。

ESMPRO/ServerManagerによる管理

「ESMPRO/ServerManager Ver. 5.2以降」を使用すると、ESMPRO/ServerManagerでUniversal RAID Utilityが管理するRAIDシステムの参照や監視、オペレーション実行などを行えます。
なお、「ESMPRO/ServerManager Ver. 5.2以降」でRAIDシステムを管理するコンピュータのオペレーティングシステムは、Windowsのみサポートします。ESMPRO/ServerManagerの動作環境や操作方法などについては、ESMPRO/ServerManagerの操作説明を参照してください。

イージーコンフィグレーション機能

Universal RAID Utilityの「イージーコンフィグレーション」機能は、LSI Embedded MegaRAID^{TM}では使用できません。

RAIDレベル6の論理ドライブの作成

ハードディスクドライブ3台でRAID6（データ×1+パリティ×2）の論理ドライブを作成するには、WebBIOSを使用してください。
Universal RAID Utilityを使用しての作成はできません。

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)に登録することにより、システムに発生する障害情報（予防保守情報含む）を電子メールやモデム経由で保守センターに自動通報することができます。
本サービスを使用することにより、システムの障害を事前に察知したり、障害発生時に迅速に保守を行ったりすることができます。

セットアップに必要な契約

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)を有効にするには、以下の契約等が必要となりますので、あらかじめ準備してください。

- **本体のハードウェア保守契約、またはエクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)の契約**

  本体のハードウェア保守契約、またはエクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)のみの契約がお済みでないと、エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)はご利用できません。契約内容の詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- **通報開局FD**

  契約後送付される通報開局FDが必要となります。まだ到着していない場合、通報開局FDが到着してから、セットアップを行ってください。

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)のセットアップについては、「オンラインドキュメント」を参照してください。

装置情報収集ユーティリティ

装置情報収集ユーティリティは本装置にインストールするソフトウェアです。保守時や障害時などにサーバの各種情報を採取することができます。「EXPRESSBUILDER」DVDからインストールすることができます。

チェック

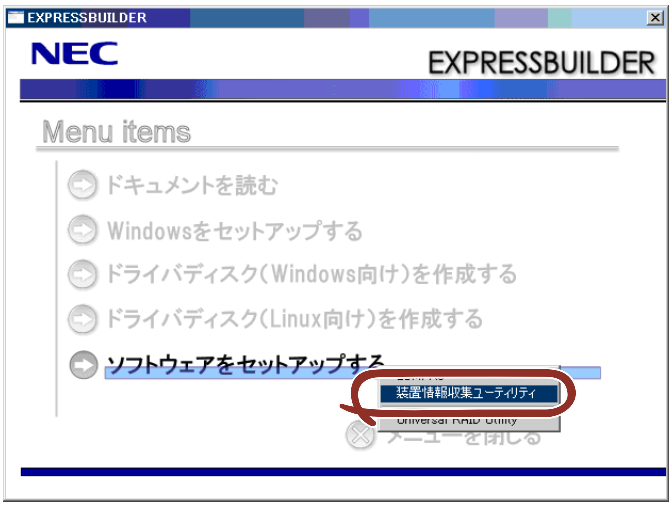
本ユーティリティのサポート対象OSは次の通りです。
- Windows Server 2003
- Windows Server 2003 x64 Editions

インストール

ここでは、個別にインストールする場合の手順を説明します。

1. **OSが起動した後、「EXPRESSBUILDER」DVD を光ディスクドライブに挿入する。**
2. **Autorunで表示されるメニューから［ソフトウェアをセットアップする］－［装置情報収集ユーティリティ］の順にクリックする。**

   本ユーティリティのインストールを開始します。
   以降はダイアログボックス中のメッセージに従ってインストールしてください。
   （デフォルトでは、システムドライブ:¥ezclctフォルダにインストールされます。）



重要

- **アドミニストレータの権限を持ったアカウントでシステムにログインしてください。**
- **インストール先ドライブの空き容量が「2.5GB」以上必要です。**

使用方法

本ユーティリティのインストールフォルダ配下の¥stdclct¥collect.exeを実行してください。stdclctフォルダ配下にlogフォルダが作成され、本装置の各種情報が圧縮ファイル(zip形式)で格納されます。

アンインストール

コントロールパネルから「プログラムの追加と削除」ー「Product Info Collection Utility (Vx.x.x)」を選んでください。以降はダイアログボックス中のメッセージに従ってアンインストールしてください。

情報提供ツール「NECからのお知らせ」

情報提供ツール「NECからのお知らせ」は、購入された装置をご利用いただくうえで役立つ情報を提供するツールです。

> ヒント
>
> 本ツールは、以下のエディションに対してのみインストールされます。
>
> ー Windows Server 2008 Standard（フルインストール）(日本語)
> ー Windows Server 2003 Standard Edition (日本語)
>
> これ以外のファミリやエディションでは、インストールされません。

カスタムインストールモデルでのセットアップ

モデルによっては購入時に情報提供ツール「NECからのお知らせ」があらかじめインストールされている場合があります。

手動インストール(新規インストール)

手動で情報提供ツール「NECからのお知らせ」をインストールする場合は、「EXPRESSBUILDER」DVD内に格納されている対応する各OSの「インストレーションサプリメントガイド」を参照し、「システムのアップデート」を適用してください。

情報提供ツール「NECからのお知らせ」のアンインストール手順

情報提供ツール「NECからのお知らせ」をアンインストールする場合は、次の手順にしたがってください。

> 重要
>
> **本ツールをアンインストールする場合は、本ツールをインストールしたアカウントで行なってください。**
> **本ツールをインストールしたアカウントはお客様の環境により以下のとおりとなります。**
>
> - **「BTO（工場組み込み出荷)」で「カスタムインストール」を指定して購入された環境の場合**
>   - **Administrator アカウント**
> - **再セットアップ時にインストールサプリメントガイドを参照し「マニュアルセットアップ」を使用した環境の場合**
>   - **「システムのアップデート」を実行した管理者権限を持つアカウント**

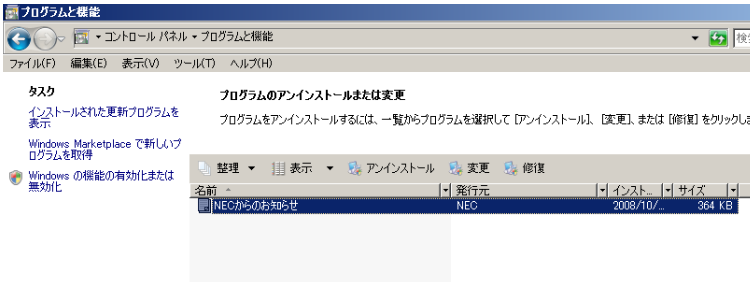
＜Windows Server 2008の場合＞

1. [プログラムと機能]画面を表示する。

   <標準のスタートメニューの手順>
   スタートメニューから[コントロールパネル]をポイントし、[プログラムと機能]をクリックする。

   <クラシックスタートメニューモードの手順>
   スタートメニューから[設定]をポイントし、[コントロールパネル]から[プログラムと機能]をクリックする。

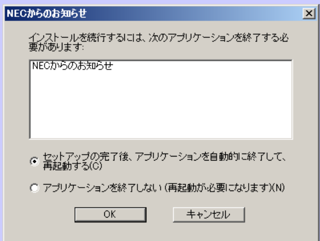
2. [プログラムのアンインストールまたは変更]一覧から情報提供ツール[NECからのお知らせ]をダブルクリックする。



   アンインストールが開始されます。

ヒント

次のメッセージが表示される場合がありますが、[OK]をクリックしてください。



3. [プログラムと機能]画面の[プログラムのアンインストールまたは変更]一覧から、情報提供ツール「NECからのお知らせ」が削除されていることを確認後、システムを再起動する。

   続いて、[お気に入り]から[NECからのお知らせ]を削除します。

4. [Internet Explorer]上にて＜Alt＞キーを押してツールバーを表示し、[お気に入り]から[お気に入りの整理]を選択する。

   「お気に入りの整理」ウィンドウが開きます。

5. 項目から「NEC」フォルダを選択する。

   NECフォルダに登録されているWebサイト一覧が表示されます。

6. [NECからのお知らせ]を選択し、[削除]をクリックする。

   「ファイルの削除」の確認ウィンドウが開きますので、[はい]をクリックして削除してください。

以上で、情報提供ツール「NECからのお知らせ」のアンインストールは完了です。

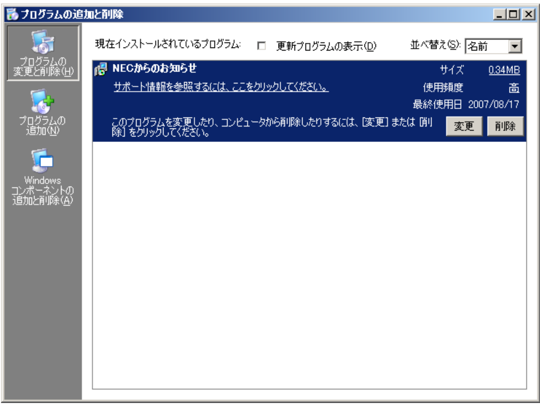
<Windows Server 2003の場合>

1. [プログラムの追加と削除]画面を表示する。

   <標準のスタートメニューの手順>
   スタートメニューから[コントロールパネル]をポイントし、[プログラムの追加と削除]をクリックする。

   <クラシックスタートメニューモードの手順>
   スタートメニューから[設定]をポイントし、[コントロールパネル]から[プログラムの追加と削除]をクリックする。

2. [現在インストールされているプログラム]一覧から情報提供ツール[NECからのお知らせ]を選択し、[削除]をクリックする。



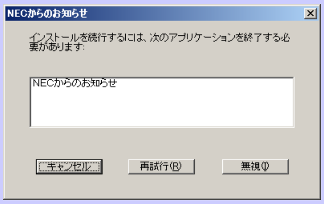
3. 次のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。



   アンインストールが開始されます。

ヒント

次のメッセージが表示される場合がありますが、[無視] をクリックしてください。



4. [プログラムの追加と削除] 画面の [現在インストールされているプログラム] 一覧から、情報提供ツール「NECからのお知らせ」が削除されていることを確認後、システムを再起動する。

   続いて、[お気に入り] から [NECからのお知らせ] を削除します。

5. [エクスプローラ] 上にてツールメニューの[お気に入り]から[お気に入りの整理]をクリックする。

   「お気に入りの整理」ウィンドウが開きます。

6. 項目から「NEC」フォルダを選択する。

   NECフォルダに登録されているWebサイト一覧が表示されます。

7. [NECからのお知らせ]を選択して、[削除]をクリックする。

   「ファイルの削除の確認」ウィンドウが開きますので、[はい]をクリックして削除してください。

以上で、情報提供ツール「NECからのお知らせ」のアンインストールは完了です。

管理PC用バンドルソフトウェア

装置をネットワーク上から管理するための「管理PC」を構築するために必要なバンドルソフトウェアについて説明します。

ESMPRO/ServerManager

管理用PC上でESMPRO/ServerManager を使用すると、リモートで本装置を管理・監視、モジュール管理、RAIDシステムの管理・監視を行えます。この機能を使用するためには、各種本体用バンドルソフトウェアを本装置にインストールする必要があります。
管理用PC へのESMPRO/ServerManagerのインストール方法や設定の詳細についてはオンラインドキュメント、またはESMPROのオンラインヘルプをご覧ください。

ヒント

ESMPRO/ServerManager の使用にあたっての注意事項や補足説明がオンラインドキュメントで説明されています。添付の「EXPRESSBUILDER」DVD 内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerManager インストレーションガイド」を参照してください。